

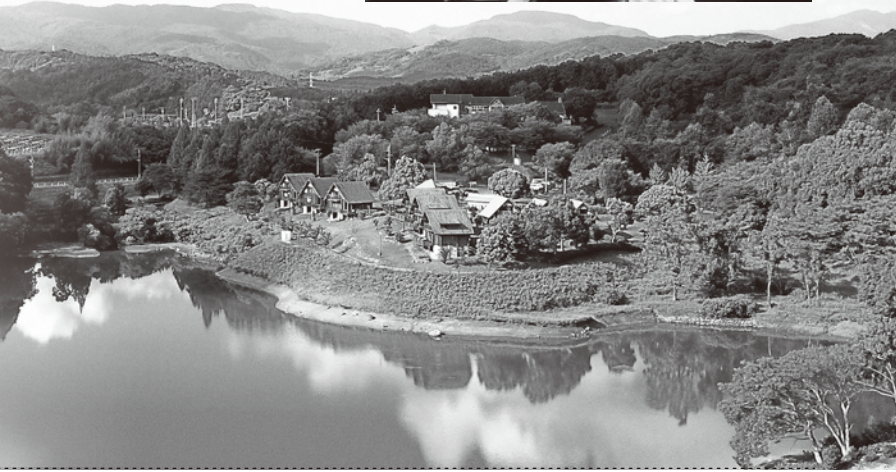


平成29年度 町政懇談会を開催しました

平成29年6月24日(土)から7月9日(日)にかけて、大字単位を基本として町政懇談会を開催し、全日程で約450名のご参加をいただきました。

現在町が実施している施策並びに財政状況、平成29年度から10年を計画期間とする「上毛町第2次総合計画」などの説明を行い、その後、多くの住民の皆様からご意見、ご質問を伺い、今後の町政運営にとって大変有意義なものとなりました。

今月から数回にわたって、会場で寄せられましたたくさんのご意見、ご質問の中から主なもの、複数寄せられたものなどを要約してお知らせします。



町政懇談会について

Q 町政懇談会は毎年行いますか。

A 昨年は校区ごとの開催でしたが、本年度は昨年の開催状況を踏まえ、大字単位で開催させていただきます。今後とも開催いたしますが、住民の皆さんの参加状況などを精査し、内容などを今後検討してまいります。

げんきの杜、大平楽、道の駅しんよしとみについて

Q げんきの杜や大平楽での町民利用者が少ないと思います。道の駅でもイベントを行うこともっと利用が増えるのではないですか。

A 道の駅では、敷地内の広場を利用したイベントを行っています。官衙遺跡でのイベント誘致を行っています。げんきの杜浴場は、町民の利用が少ないことやランニングコストなどを分析し、今後の在り方を検討します。大平楽は一般的な温浴施設であり、黒字経営であることから現在のところ問題は無いと考えています。

Q 大池公園に関する、中途半端な整備では仕方ないと考えています。突き抜けた整備をしようということを検討してきましたが、これは、あくまで町がお金を投入するのではなく、企業を呼んでくるということですか。

A 園路再整備の計画を企業に説明すると、自己資金を出して進出したいという企業もありました。つまり、町が事業費全部を負担するのではないのです。そこに誤解が生まれ、「町がこの池に20数億円捨てる」といった間違った情報が流れたわけですから、今、説明をさせていただいているところで、いくつかの企業からそのような話がありましたので、ようやく今から皆さんに説明ができるというところでありました。ただ、議会の一部から反対もあり、賛同企業にもそのことが伝わっており、反対されてまで進出はできないと企業も言われるし、それは当然だと思えます。

Q 今回の説明を聞いて大池公園整備事業がトーンダウンしているように感じます。事業に関して誤解があるということですが、町が数億円捻出してでも本気でやるのだと期待していました。この事業により上毛町が活性化され、将来が大きく変わる可能性を秘めていると期待感を持っていたので残念です。今後、企業誘致などが実現せず園路などの整備で終わってしまうということになれば、何億円かけてもあまり意味がないと思います。きちんと行うからその大池公園整備であり、中途半端な整備なら行わない方がよいと思えます。一部の人は反対している

Q 東九州自動車道開通後の道の駅しんよしとみや大平楽の利用状況を町はどのように考えていますか。

A 高速道路開通の影響により利用者数は減少しています。大平楽では、指定管理者の努力により収益を確保していただいておりますが、道の駅は厳しい状況にあります。その打開策として、ピッツェリア・フイエロの開店、ふるさと納税返礼品の取扱いを始め、たことなどにより収益も向上し、支えていただいております。皆さんと収益を出せるよう努力していきます。

Q ビッツェリア・フイエロが上毛町にあることを知らない人が多く、もっと活用してもらえようPRをしてほしいと思います。

A 情報発信が十分できていないことは認識しています。ですので、町ではフェイスブックなどのSNSを使った情報発信を行うよう準備しており、全国に向けて上毛町を知ってもらえるよう情報発信を行っています。町フイエロブックを7月より開設済み。

Q 行政だけでなく、住民の皆さんにもいろんな知恵を出していただき、町の将来がより良いものになるよう考えていきます。皆さんのご支援なくしては不可能でございますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。

大池公園整備事業について

Q 高速道路と大池公園を連結する計画であったと思いますが、高速道路と連結しない理由として説明があった「施設の目的地化等を考慮して」というのはどういうことですか。また、民間との連携により整備を推進するとの説明がありましたが、事業を行うには期限があると思えます。その期限が来て、前向きに進めることができなければどのようにして政策(整備)を進めて行くのですか。

A 高速道路との連結は、平成17年の2村合併のために策定した新町建設計画に基づいて上り線の連結を考えていました。民間との協議を行った中で、大池公園を整備するならば既設の上毛SICを活用して公園自体が目的地となるよう整備を行うべきとの意見もあり、様々な検討の結果、今回高速道路とは連結しないことになりました。この「目的地化」というのは、上毛SICを活用し高速道路から降りていただき、大池公園に目的地として来園していただくことで、来園者に大池公園を長い時間楽しんでもいただけるような施設整備を

Q 老朽化し危険度が高い空き家について、本年度から解体費用の一部を助成する制度を設けています。具体的には解体工事費の1/2、50万円を上限に助成します。なお、一定の基準を満たした場合に助成の対象となりますので、詳細は住民課へご相談ください。

〈10月号に続く〉



空き家バンク

Q 空き家に対する助成はありますか。

A 町で把握している空き家は約280戸あり、人口増、定住のための方策として、町では空き家バンク制度を設けていますので、多くの皆さんの登録をお願いします。

Q 登録していただいた場合、改修費用として50万円まで助成できる制度がありますので、詳細については企画情報課へご相談ください。

Q 老朽化して危険な空き家の対策はどうなっていますか。

行っていくことです。民間誘致の期限は、今回説明した整備方針(注1)に基づいて、今後しっかり推進したいと考えています。仮に民間との連携ができない場合は、園路の再整備でこの事業は終わることも考えられますが、そのような状況にならないようにしっかりと取り組んでいきたいと考えています。(注1) 大池公園整備事業第2段階以降(園路再整備以降)の整備方針

第2段階以降の整備は、整備方針を検討している段階で施設整備の内容は決定していません。基本的な方針として決定している項目は次のとおりです。
①新町建設計画に基づき検討していただきました西側部の高速道路との連結(注2)は、施設の目的地化などを考慮し、連結しないこととしました。
②集客施設は企業の誘致(民間店舗の誘致)(注3)を基本として、極力町の負担がない整備を考えています。
③第2段階の施設整備は、民間との連携ができない場合は行わず、園路整備を含めた公園整備で終わ

Q 今回の説明を聞いて大池公園整備事業がトーンダウンしているように感じます。事業に関して誤解があるということですが、町が数億円捻出してでも本気でやるのだと期待していました。この事業により上毛町が活性化され、将来が大きく変わる可能性を秘めていると期待感を持っていたので残念です。今後、企業誘致などが実現せず園路などの整備で終わってしまうということになれば、何億円かけてもあまり意味がないと思います。きちんと行うからその大池公園整備であり、中途半端な整備なら行わない方がよいと思えます。一部の人は反対している

ることも考えられます。④第3段階の整備は、第2段階の進捗状況を踏まえ事業費及び必要性などを検証しながら実施するかを検討します。(注2) 高速道路との連結 上り線の高速道路利用者が高速道路を降りることなく直接大池公園で休憩できるように連結路と駐車場を整備すること。(注3) 民間店舗の誘致 原則、民設民営を基本としています。